

はじめに

はじめまして。

笹山ふさこと申します。

数ある本の中からこの本を手にしていただき、ありがとうございます！

私は、数年前までフルタイム勤務で子育てをしている、どこにでもいる普通のママでした。

25歳でステップファミリーになったのですが、相手の方にお子さんがいて、私は継母になったのです。「お母さん」ではないのでいつも「ふうちゃん」って呼ばれていました。

そのとき、継子たちは高校1年生と中学2年生の思春期真っただ中。いろいろと衝突もありながらもなんとかやっていましたが、子育てをしている実感はなく、人と人として向き合ってきました。そうして過ごしているうちに実子一人目を授かることになったのですが、当時の私は自分が子育てに悩み、自分らしく生きるとは？ などと考えようとは夢にも思っていまませんでした。

ですが長女が保育園に上がってからというもの、お友達との関係、ママ友との関係、教育のこと、発達のこと、とにかく毎日のように考えることがとめどなく出てくるのです。それに加えて長女に自我が芽生え、こちらの言っていることに反抗したり、泣いたり、どうしていいのかわからないことだらけ。ここからが子育てに悩むスタートになったのです。

そんなとき、「子育てを学ぶ」という講演会をやっている方の記事をインターネットで見つけたのですが、私の頭の中は「？」マークだらけでした。

「子育てを学ぶってどういうこと？」

「子育てって子どもを産んだら自然にできるものじゃないの？」

子育てに行き詰まっていた私でしたが、子育てを学ぶということを理解するのに少し時間がかかりました。

それからというもの、このことが頭から離れなくなりメルマガを読みはじめ、子育てを学んだことでどう変化していったのかを知ったとき、講座を受講せずにはいられませんでした。すべての講座が受講し終わるころには子育ての悩みは嘘のように消えていました。よくよく振り返ってみると、私に変化したすべての始まりはここからだったのです。

それからは、子育てに悩むことはなくなりましたが、今度は人生に悩みはじめ、一度しかない人生、本当にこのままでいいのだろうか？ と、常に考えるようになっていったのです。

私が本を出版できるようにまでなったのはすべて「家族」のおかげです。今でもつらいこと、情けないこと、恥ずかしいこと、楽しいこと、嬉しいことなど本当にいろいろなことがあります。

時に落ち込んで塞ぎこむ私に、家族は誰一人として責めることなく「生きていればいろいろなことがある」と、母はこれまでの自分の人生を語り、主人はすべてわかったうえで見守り、子どもたちまでもが私の現状を受け入れてくれるのです。このときほど「私の幸せの源は家族にある」と思うことはありません。

普通の家庭に生まれ、平凡に生きてきた私がステップファミリーとなり、子育ての悩みを克服して本当の幸せを見つけたことができました。そんな私の思いをこの本に書かせていただきました。何か一つでもあなたの心に伝われば幸いです。